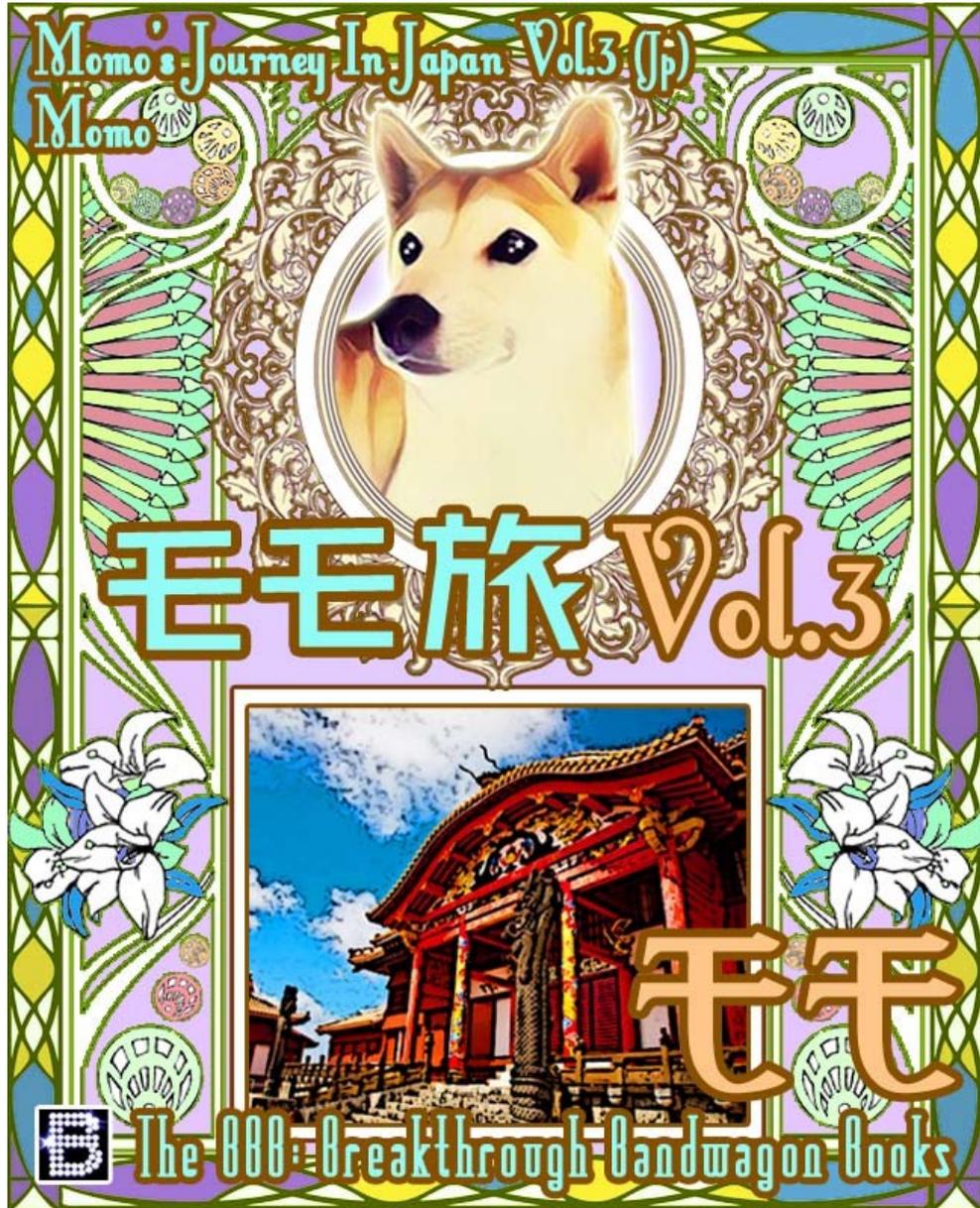


Momo's Journey In Japan Vol. 3 (Jp)



(邦題「モモ旅 Vol. 3」)

Written by Momo

Translated by Tanya

Cover design by Tanya

Maps copyright © 2020 Increment P Corporation

Copyright © 2020 Momo / The BBB: Breakthrough Bandwagon Books

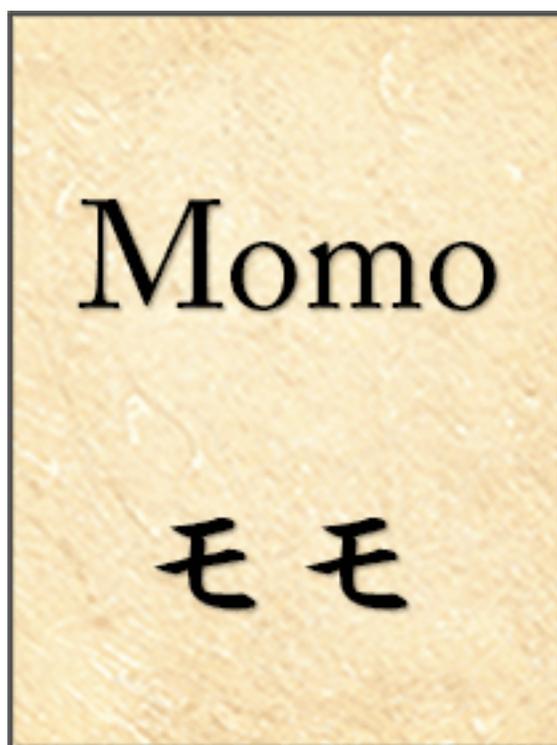
All rights reserved.

ISBN: 978-1-71615-439-3



The BBB ウェブサイト（日本語版）

<http://thebbb.net/jp/>



モモ著者ページ

<http://thebbb.net/jp/cast/momo.html>

1. 古都奈良の文化財



広島を後にしたモモは、奈良にやってきました。

ターニャさんによると、奈良は、京都（長岡京）に都が移される以前、710年から784年まで、都だった場所だそうです。

この平城京を今に伝える建造物や遺跡が合計8件、『古都奈良の文化財』として、1998年に文化遺産に登録されました。

奈良に到着して、まず最初に訪れた場所は、広々とした公園にもなっている平城京跡。

「わぁ！ なんて大きな建物！」

モモはワクワクして、その巨大な建造物に向かって駆け出しました。

その朱色の建物は、太極殿（だいごくでん）と呼ばれているのだそうです。

MOMO is HERE!



平城京跡（古都奈良の文化財）

【Address】〒630-8577

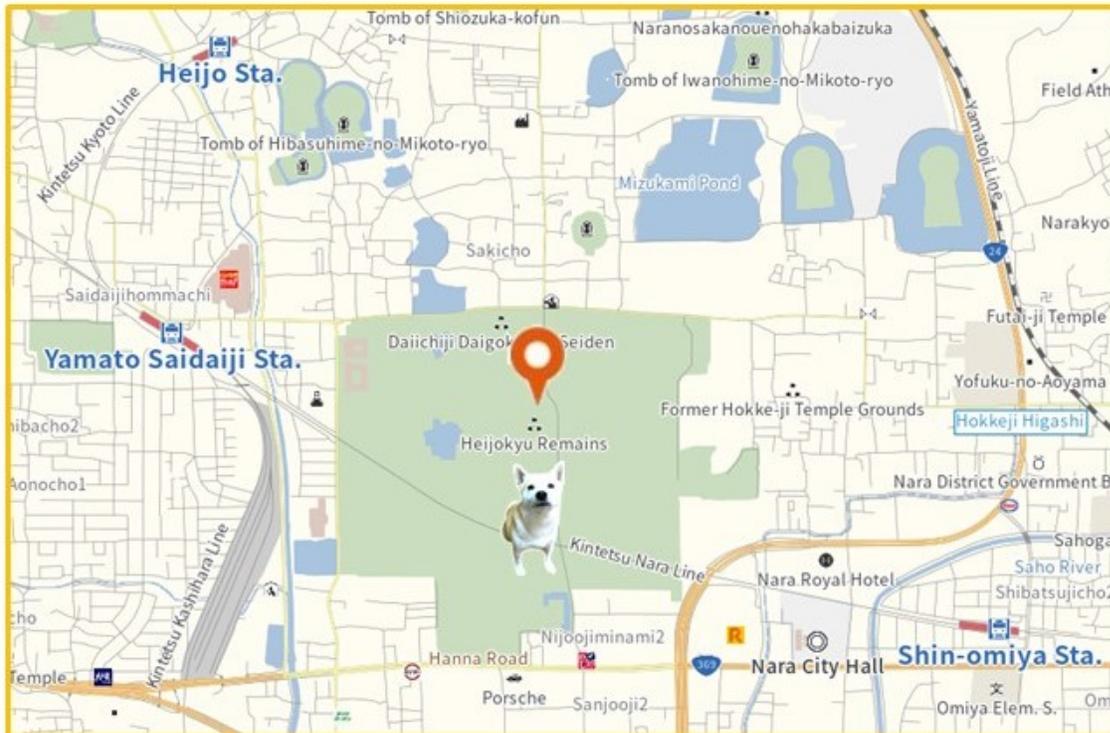
奈良県奈良市佐紀町

【TEL】0742-30-6753（9:00～4:30）／休業日：月曜・祝日、年末年始

【FAX】0742-30-6750

【Access】近鉄大和西大寺駅より徒歩約10分

【拝観料】無料（最終入館時間16:00）





今日は、「奈良の大仏」で知られる、東大寺にやってきました。
以前の世界遺産旅行でも、モモは、この場所を訪れました。
大仏殿に近づくとつれて、だんだんと大仏の大きさを思い出してきました。
モモはドキドキしながら、想像しました。
「大仏さんぐらい大きくなったら、ゴハンどれぐらい食べるのかな？」
—お相撲さんぐらい食べるのかな？ ゴジラぐらいかな？
—おにぎり 100 個じゃ、足りないかも！



**MOMO
is HERE!**



東大寺 (古都奈良の文化財)

【Address】〒630-8587

奈良県奈良市雑司町406-1

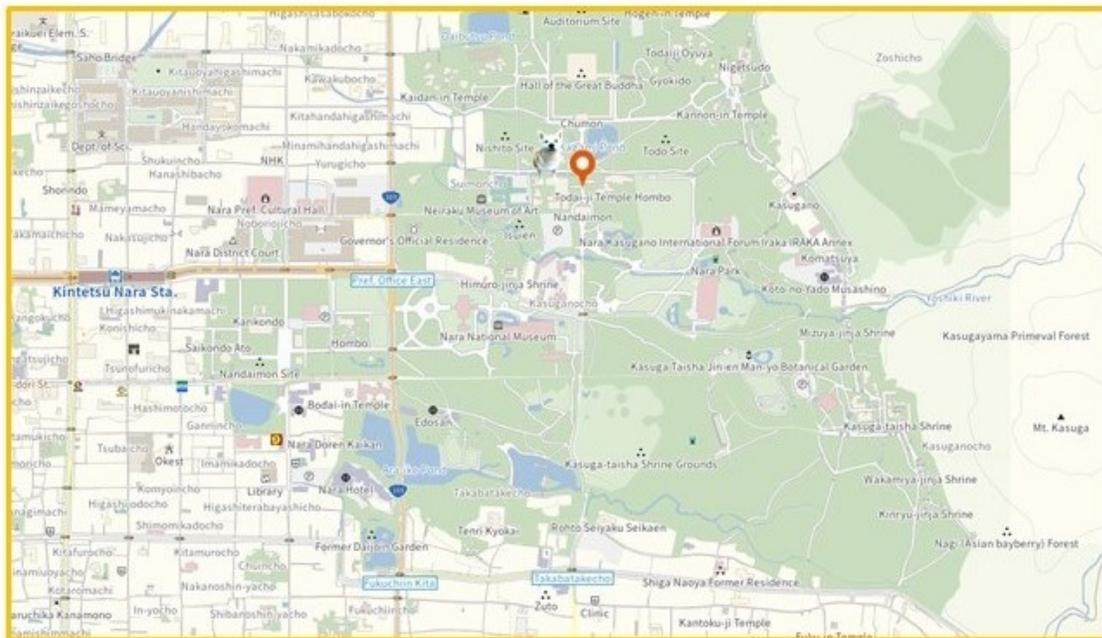
【TEL】0742-22-5511

(4月~10月：7:30~17:30 / 11月~3月：8:00~17:00)

【FAX】0742-22-0808

【Access】JR線「奈良」駅、近鉄「奈良」駅からの市内循環バスに
乗車約7分、「大仏殿春日大社前」下車より徒歩約5分

【拝観料】大人：600円 / 子供：300円





今日は、奈良県にある世界遺産のひとつ、興福寺にやってきました。

このお寺は、国宝の「阿修羅像」が収蔵されていることで知られています。

阿修羅像はとても繊細なので、1年に2回、春と秋に期間限定で公開されているそうです。

タイミング良く、モモは、阿修羅像を見ることができました。

阿修羅さんのお顔は3つ、腕は6本。

モモのお顔はひとつ、足は4本です。

「3つも顔があったら、あっちを見たらいいのかな？ こっちかな？ どっちかな？」

「足が6本あったら、うまく歩けるかな？ 速く走れるかな？」

興福寺 (古都奈良の文化財)

【Address】 〒630-8213

奈良県奈良市登大路町48

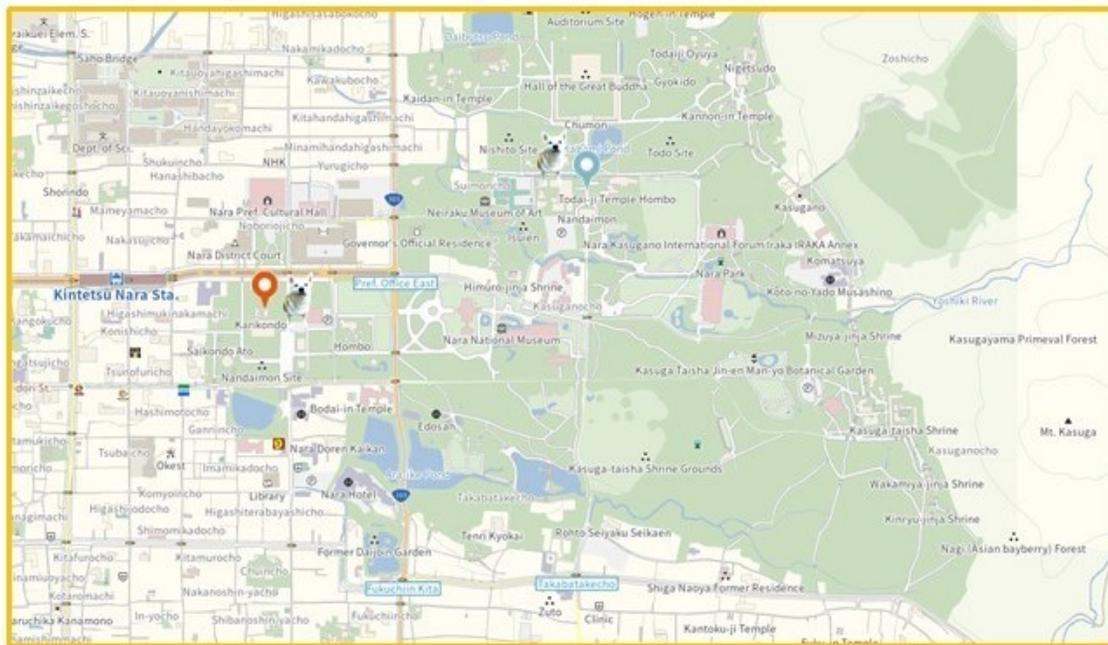
【TEL】 0742-22-7755 / 9:00~17:00

【FAX】 0742-23-1971

【Access】 近鉄「奈良」駅より徒歩約5分

【拝観料】 国宝館・東金堂連帯共通券

一般・大学生：900円 / 中学・高校生：700円 / 子ども：350円
(最終入館時間16:45)





今日は、奈良市の春日大社にやってきました。

春日大社には日本の神さまのお使いとされている鹿さんたちが、たくさん暮らしているそうです。

モモが境内を歩いていると、1頭の鹿の女の子が近づいてきました。

「モモちゃん、こんにちは！ わたしたちの秋祭りに参加してみない？」

彼女によると、采女祭（うねめまつり）という秋のお祭りが来週、開催されるそうです。

そして、采女神社の前で縫い針に赤い糸を通すと、願い事が叶うのだとか。

「わあ、素敵！ やってみたいな」

モモは、さっそく鹿さんにやり方を教えてもらいました。

「鹿さんは簡単だよと言っているけれど……」

モモの肉球では、縫い針と赤い糸を持つことすら、むずかしいようです。

MOMO is HERE!



春日大社（古都奈良の文化財）

【Address】〒630-8212

奈良県奈良市春日野町160

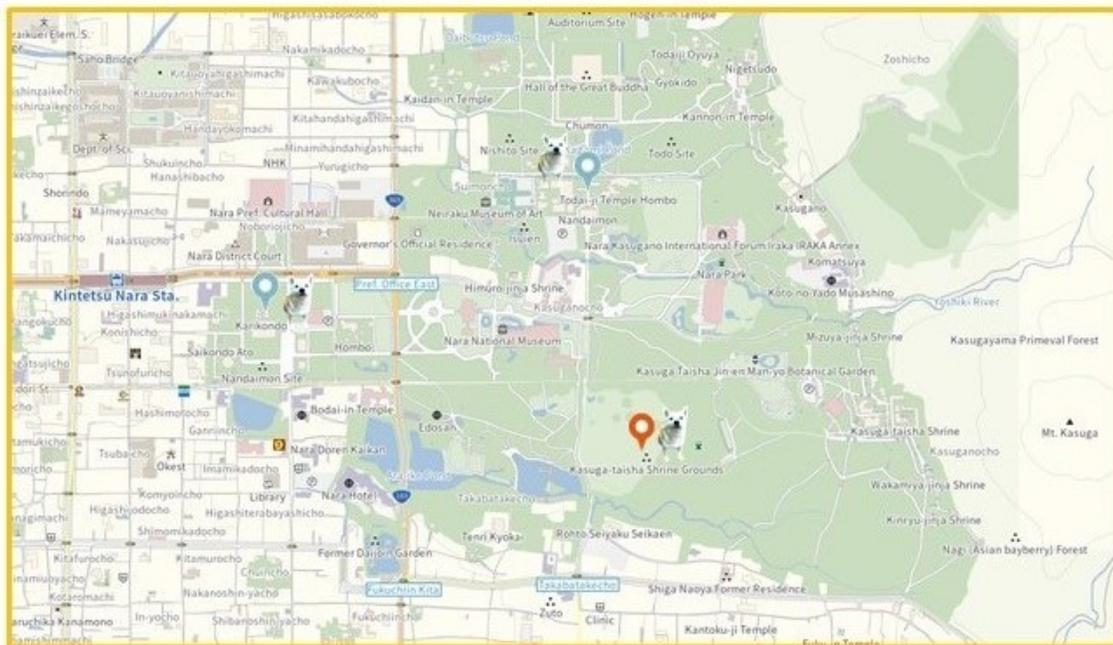
【TEL】0742-22-7788

（4月～9月：6:00～18:00 / 10月～3月：6:30～17:00）

【FAX】0742-27-2114

【Access】JR線「奈良」駅、近鉄「奈良」駅より、
「春日大社本殿行」バス乗車約8分終点下車すぐ
または、市内循環バス乗車約8分、
「春日大社表参道」下車より徒歩約10分

【拝観料】境内無料（回廊内特別参拝、国宝展、萬葉植物園は別料金）





春日大社で出会った鹿の女の子に誘われて、モモは春日山に登ることにしました。
モモは、「日本百名山」制覇に挑戦しているお友達の穂高さんのことを思い出します。

「穂高さん、元気かな？」

山の森では、鹿の家族たちが、モモを温かく迎えてくれました。

「モモちゃん、わたしたちと一緒に昼寝しない？　ここは陽射しがとても心地好いから」
促されるまま、モモが柔らかい地面に寝転ぶと、そこは羽根のように、ふわふわとしています。

「あったかい毛布みたい……」

とても気持ち良くなってきて、モモは、いつの間にか眠ってしまいました。

**MOMO is HERE
with a GIRL DEER!**



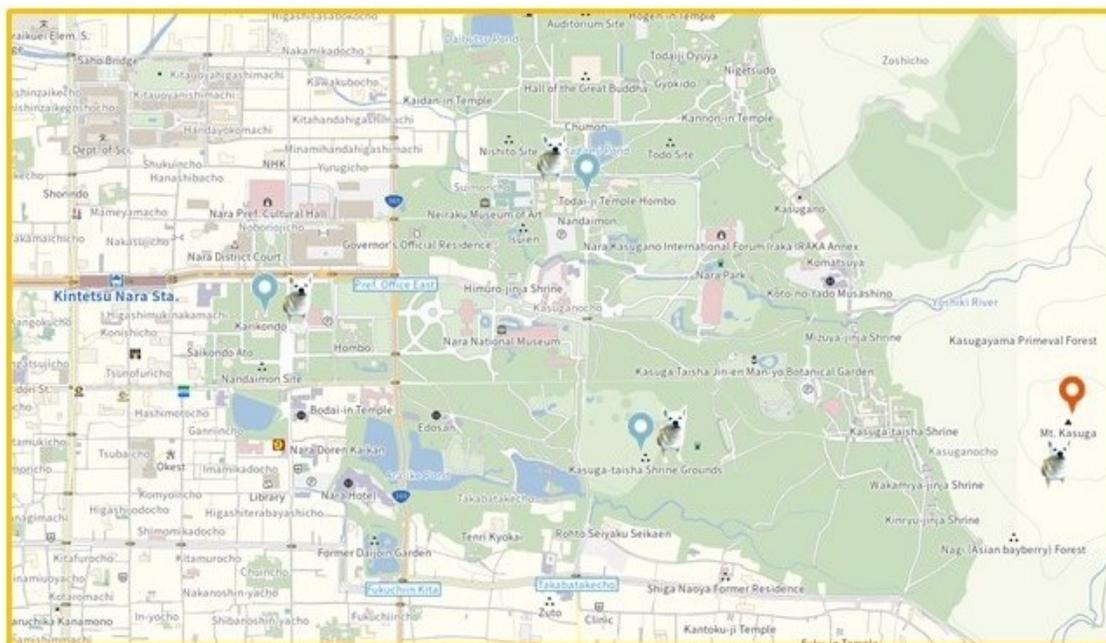
春日山原生林 (古都奈良の文化財)

【Address】〒630-8212

奈良県奈良市春日野町

【TEL】奈良市観光センター 0742-22-3900 / 9:00~19:00

【Access】JR線・近鉄「奈良」駅からの「春日大社本殿行」バスに乗りし、
「春日大社本殿」下車より徒歩約5分





今日は、元興寺（がんごうじ）にやってきました。

この建物の瓦（かわら）屋根は、日本でいちばん古いものだと言われているそうです。

赤茶色や灰色など、さまざまな色の屋根瓦が並んでいます。

すると、「モモちゃ〜ん」と、どこからともなく呼ぶ声が。

モモが声の聴こえてきた方向を見ると、たくさんのお地蔵さまが立ち並んでいます。

「うーん……、どのお地蔵さまですか？」

お地蔵さまたちは、何も言わず、ただ微笑んでいるだけでした。



MOMO is HERE



元興寺 (古都奈良の文化財)

【Address】〒630-8392

奈良県奈良市中院町11

【TEL】0742-23-1377 / 9:00~17:00

【FAX】0742-23-1378

【Access】JR線「奈良」駅より徒歩約20分

または、近鉄「奈良」駅より徒歩約12分

【拝観料】一般・大学生：500円 / 中学・高校生：300円 / 小学生：100円
(最終入館時間16:30)





今日は、唐招提寺（とうしょうだいじ）にやってきました。

奈良時代、唐の長安から日本にやって来た鑑真（がんじん）さんというお坊さんが造った、仏教のお寺だそうです。

鑑真さんは、多くの困難に立ち向かいながら、10年以上もの歳月をかけて唐から日本に辿り着きました。

ですが、その困難の中で、ついに視力を喪ってしまったそうです。

快晴の空の下、静かな境内に、モモは4つ足を踏み入れました。

とても大きな建物を見上げながら、モモは、そのお坊さんのことを考えました。

「鑑真さん、あなたのされたことは本当にすごいです。あなたはきっと、この建物を心の目で見ておられたのですね……」



MOMO is HERE →

唐招提寺（古都奈良の文化財）

【Address】〒630-8032

奈良県奈良市五条町13-46

【TEL】0742-33-7900（代表）／8:30～17:00

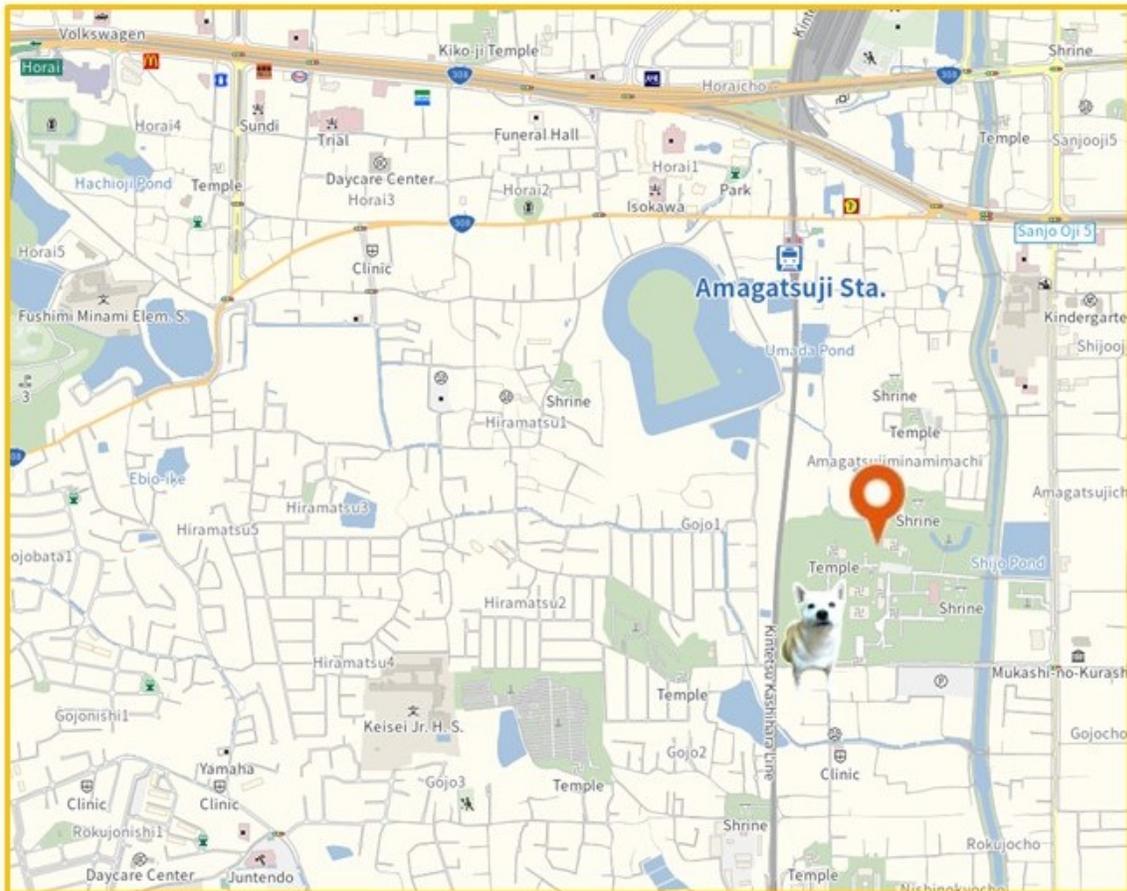
【FAX】0742-33-5266

【Access】JR線「奈良」駅、近鉄「奈良」駅、近鉄「西ノ京」駅より

「六条山行」バス乗車約17分、「唐招提寺」下車すぐ

または、近鉄「西ノ京」駅より徒歩約10分

【拝観料】一般・大学生：600円／中学・高校生：400円／小学生：200円
（最終入館時間16:30）





今日は、薬師寺にやってきました。

このお寺は、病気に苦しむ人たちが快復することを願って、建てられたそうです。

ちょうどモモが訪れた時、「万燈会（まんとうえ）」という行事が行われていました。

多くの灯籠（とうろう）が敷地内に並べられていて、夜の闇の中で神秘的に輝いています。

モモ自身も、生まれつき、いくつもアレルギーのある体質で、毎日お薬を飲まないといけません。

モモには、このお寺を訪れる人たちの気持ちが伝わってきました。

「みんなが健康になりますように」

MOMO is HERE



薬師寺（古都奈良の文化財）

【Address】〒630-8563

奈良県奈良市西ノ京町457

【TEL】0742-33-6001 / 8:30~17:00

【FAX】0742-33-6004

【Access】JR線「奈良」駅、近鉄「奈良」駅より、
「六条山行」バス乗車約18分、「薬師寺」下車すぐ。
または、近鉄「西ノ京」駅より徒歩すぐ。

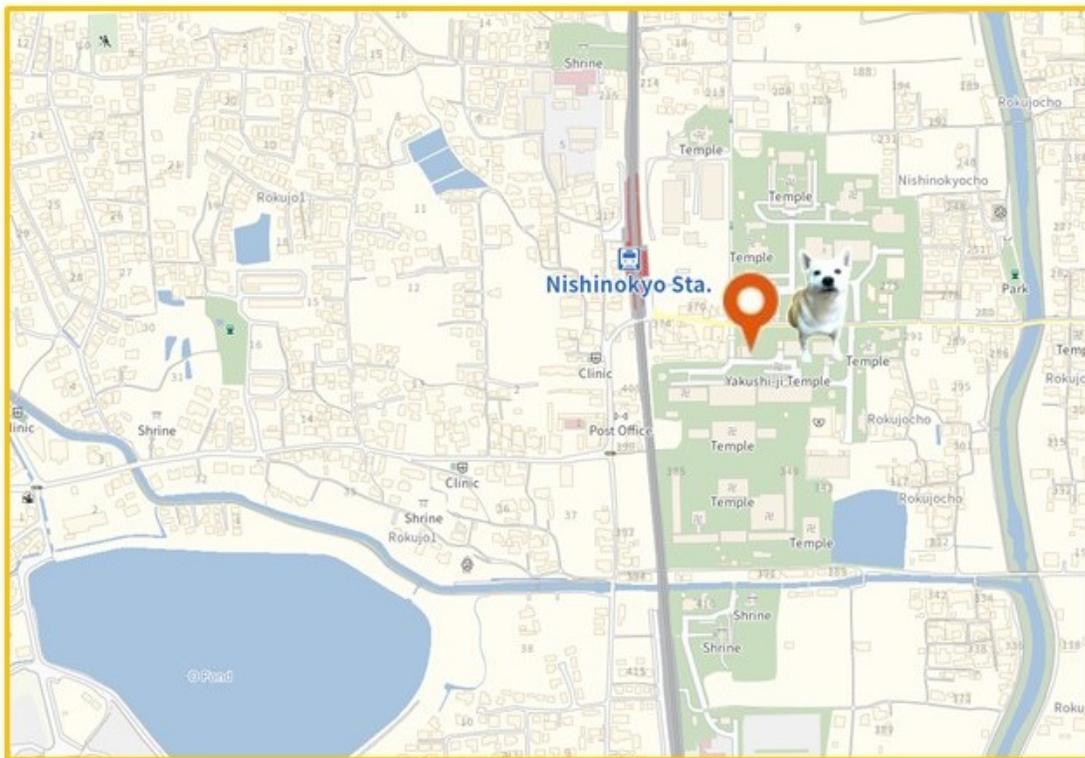
【拝観料】玄奘三蔵院伽藍 公開時

一般・大学生：1,100円 / 中学・高校生：700円 / 小学生300円

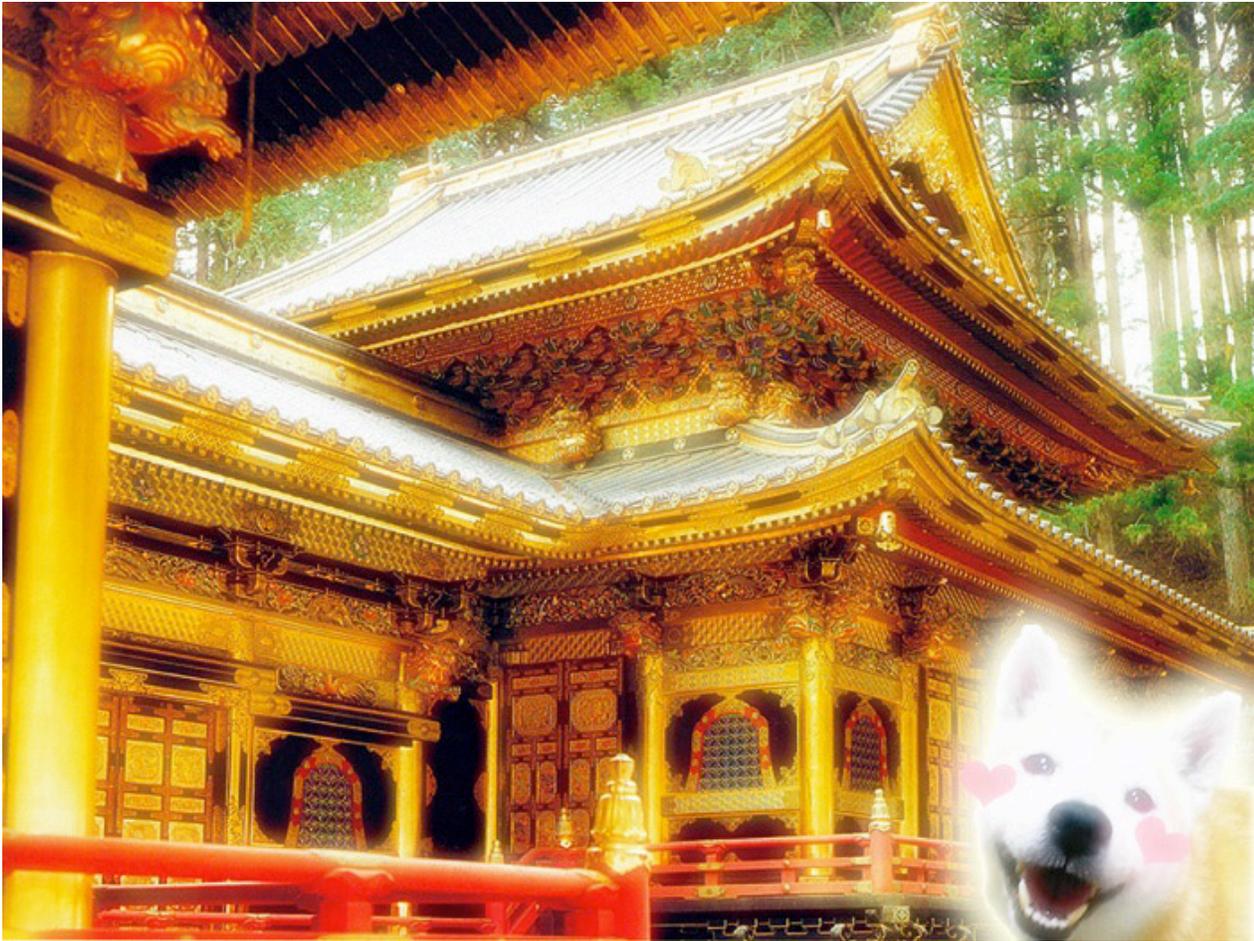
玄奘三蔵院伽藍 閉鎖時

一般・大学生：800円 / 中学・高校生：500円 / 小学生200円

（大宝蔵殿・特別展は別料金、最終入館時間16:30）



2. 日光の社寺



古都奈良を後にしたモモが次に向かった旅先は、栃木県の日光市。

日光市の神社と寺院が、世界遺産に登録されていると聞いたのです。

最初の目的地、輪王寺（りんのうじ）は、古都奈良が造られたのと同じ時代に建てられたようです。

「やあ、モモちゃん！ はるばる来てくれて、ありがとう！」

黒色の法衣（ほうい）を着たお坊さんがモモを出迎えて、お寺を案内してくれました。

お坊さんはお話し上手で、モモを楽しませてくれました。

「秋に日光を訪れたのは、大正解だよ」

敷地内の樹々のもみじが赤や黄に色づいて、とても美しく、モモを魅了しました。



輪王寺 (日光の社寺)

【Address】 〒321-1431

栃木県日光市山内2300

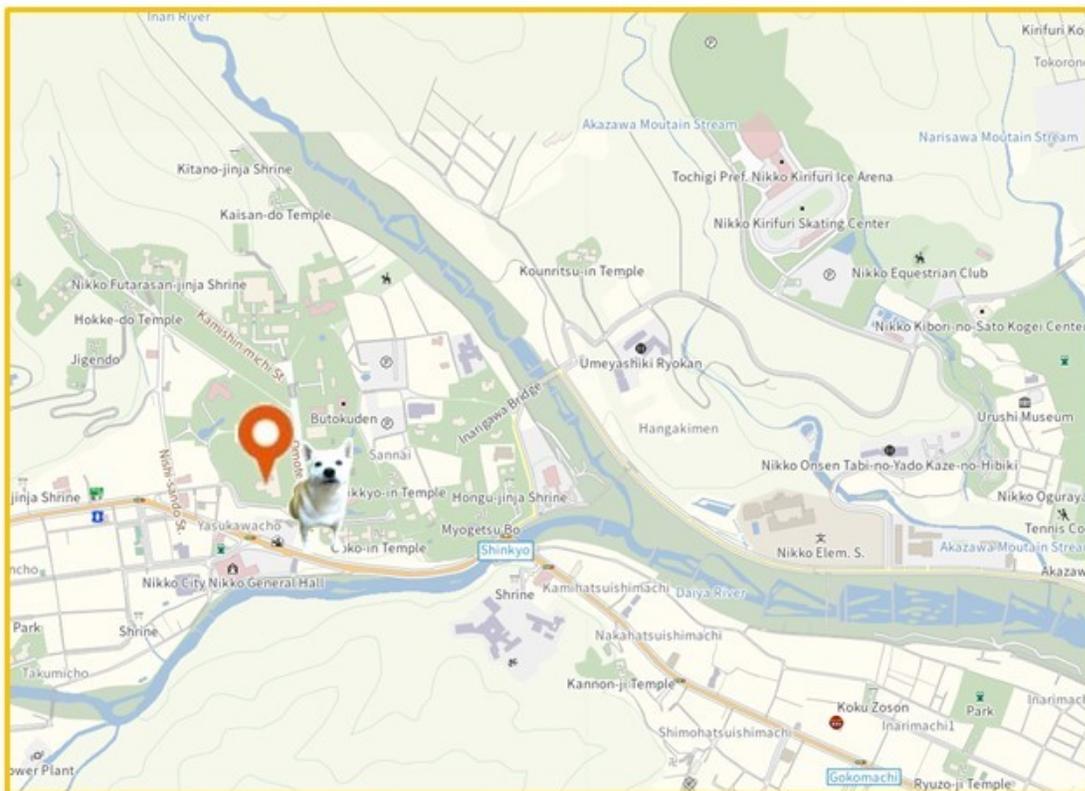
【TEL】 0288-54-0531

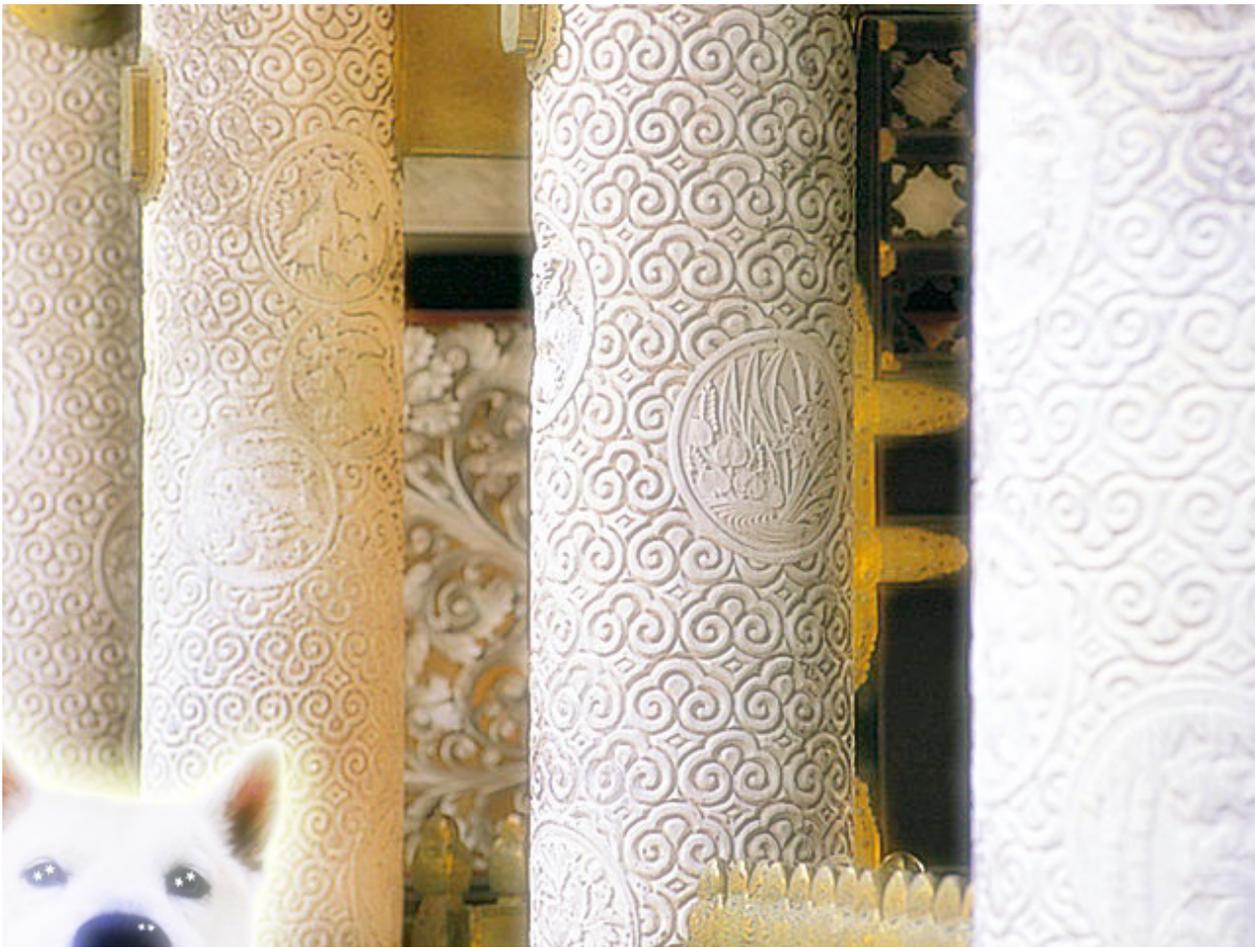
4月～10月：8:00～17:00 / 11月～3月：8:00～16:00

【FAX】 0288-54-0534

【Access】 JR線・東武「日光」駅より東武バス「中禅寺行」乗車5分、
「神橋」または「西参道」下車、徒歩約5分

【拝観料】 三仏道・大猷院：900円 / 宝物殿・逍遙園：300円
(最終入館時間：閉門30分前)





輪王寺を観てまわった後、モモは歩いて日光東照宮に向かいました。

東照宮は、輪王寺のすぐ近くにあります。

神社の建物は信じられないくらい豪華に色鮮やかです。

装飾もあまりにも細かくて、モモは、感嘆のため息をもらしてしまうほどでした。

「……あれ、なにこれ？ 柱の1本だけ、なにか変」

不思議なことに、この柱だけ、模様が逆さまになっているのです。

「どうしてなのかな？」



日光東照宮 (日光の社寺)

【Address】 〒321-1431

栃木県日光市山内2301 日光東照宮社務所

【TEL】 0288-54-0560 (代表)

4月～10月：8:00～17:00 / 11月～3月：8:00～16:00

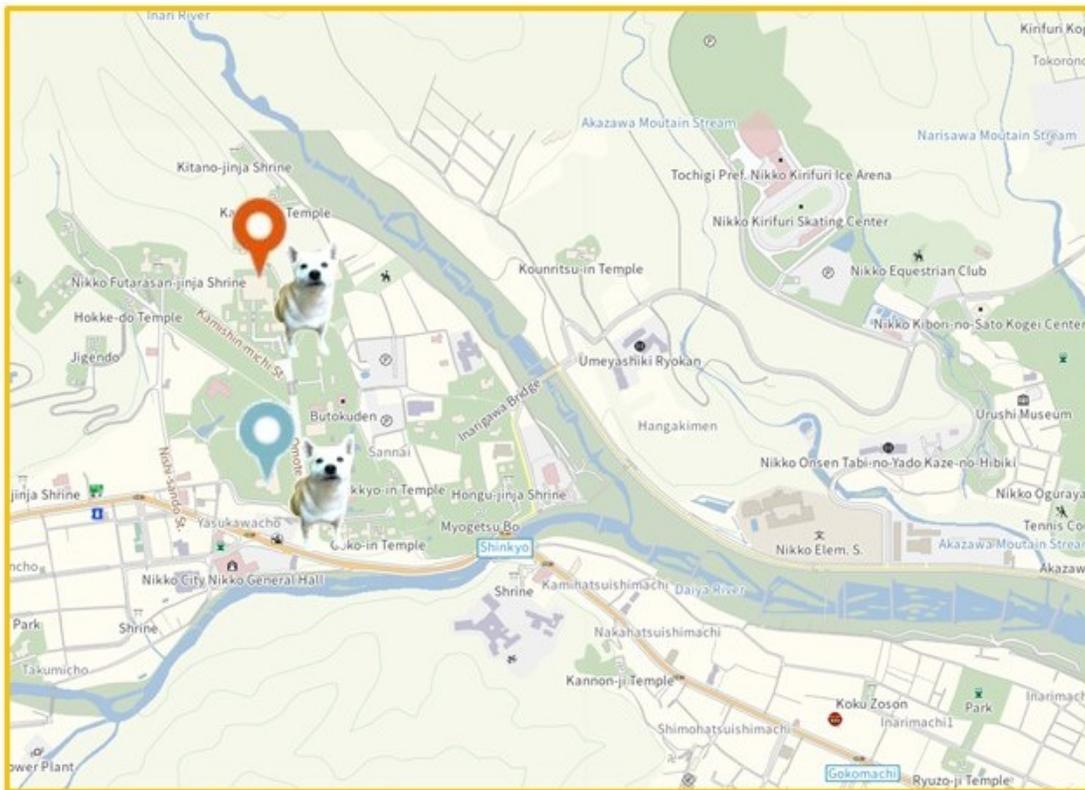
【FAX】 0288-54-0061

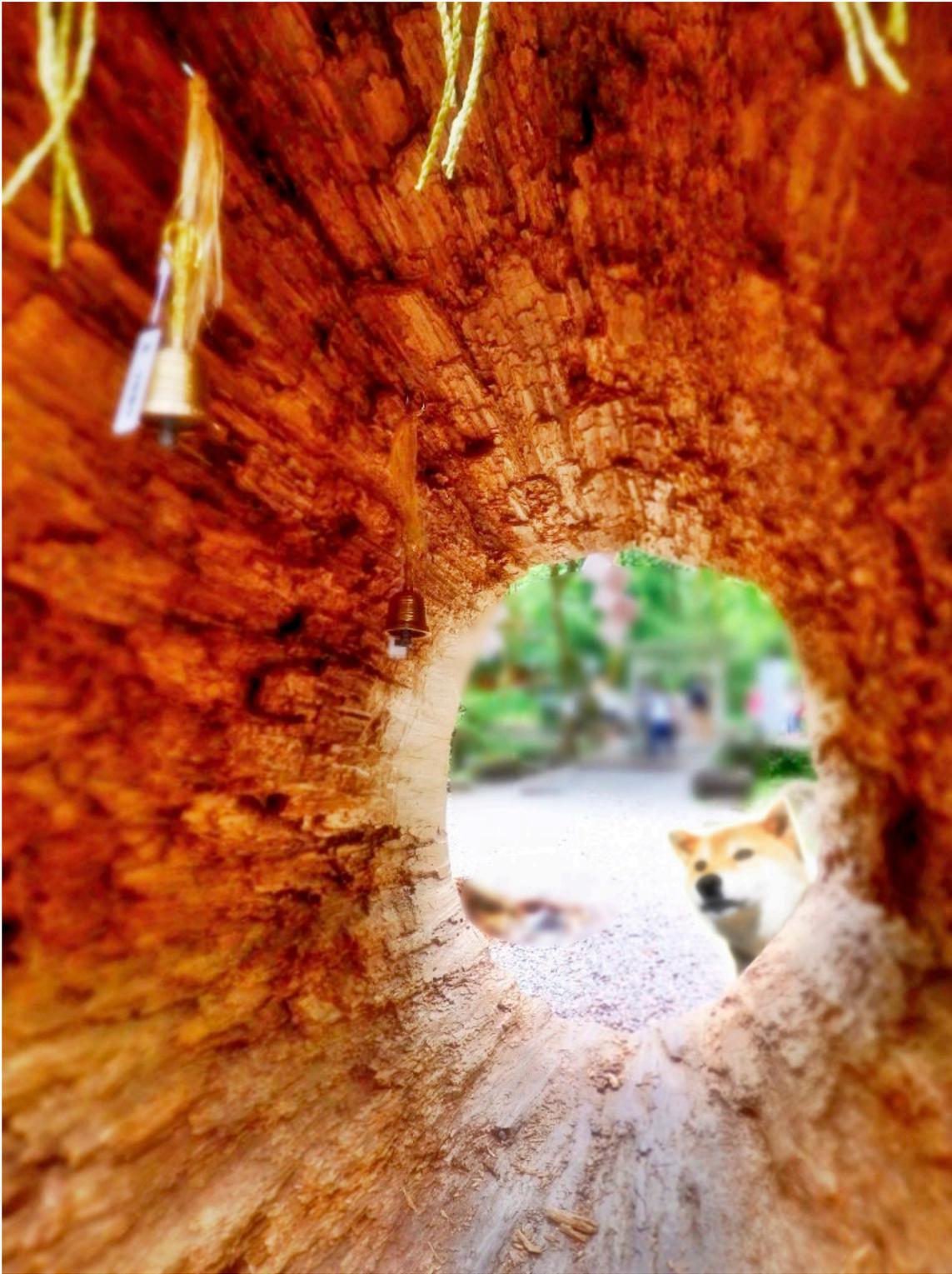
【Access】 JR線・東武「日光」駅より、

東武バス「中禅寺温泉」行または「湯元温泉」行に乗車約5分、
「神橋」下車、徒歩約8分

【拝観料】 大人・高校生以上：1,300円 / 小・中学生：450円

(宝物館・美術館は別料金、最終入館時間：閉門30分前)





日光市では、神社ふたつ、お寺ひとつが世界遺産に登録されているようです。

輪王寺と日光東照宮に続いて、モモは、最後のひとつ、二荒山（ふたらさん）神社を訪れました。

境内に入ると、人々が1か所に集まっています。

「あれ？ なにかあったの？」

モモの疑問に、観光客らしいおじさんが親切に教えてくれました。

これは樹齢 550 年以上の杉の大木で、「御神木（ごしんぼく）胎内（たいない）くぐり」といって、中の空洞を通り抜けると、幸運に恵まれるのだそうです。

「すごい！ わたしも参加したい！」

モモは思わず、杉の中を何度も行ったり来たりしてしまいました。

MOMO is HERE



二荒山神社 (日光の社寺)

【Address】 〒321-1431

栃木県日光市山内2307

【TEL】 0288-54-0535

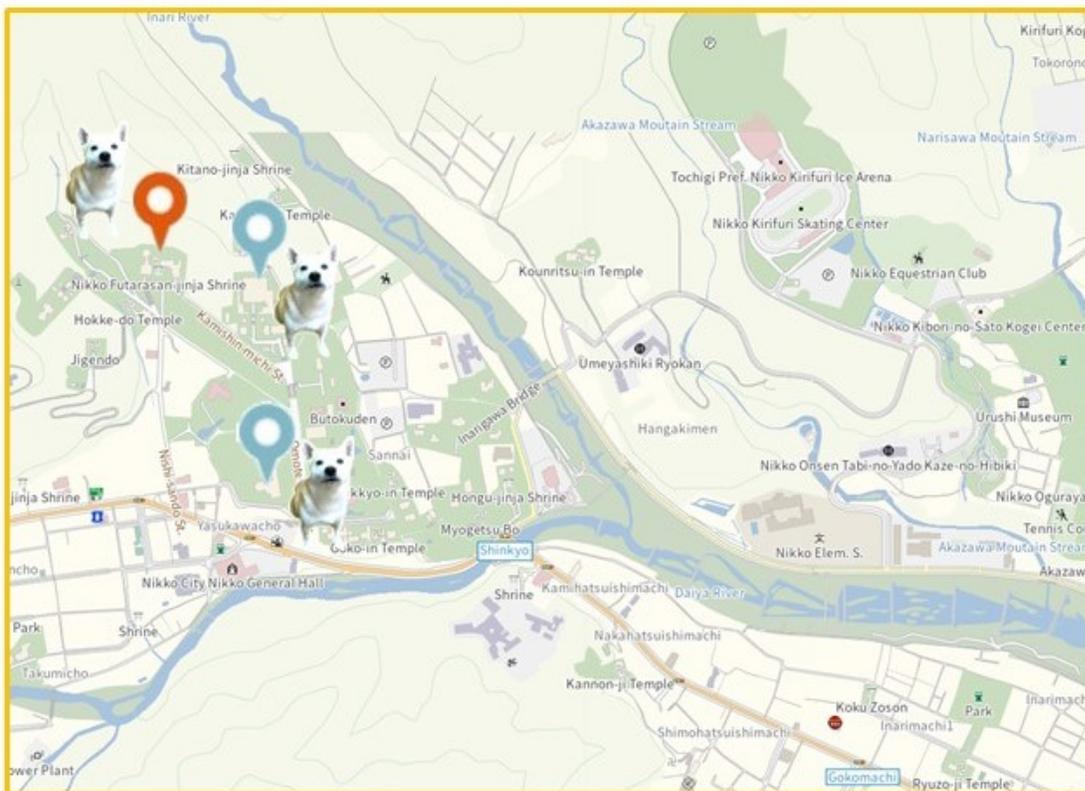
4月～10月：8:00～17:00 / 11月～3月：8:00～16:00

【FAX】 0288-54-0537

【Access】 JR線・東武「日光」駅より、

東武バス「中禅寺温泉」行または「湯元温泉」行に乗車約7分、
バス停「西参道」で下車、徒歩約7分

【拝観料】 200円（最終入館時間：閉門30分前）



3. 琉球王国のグスクおよび関連遺産群



日光を後にしたモモは、思い切って、飛行機で沖縄県に向かいました。

9つの場所が、『琉球王国のグスク及び関連遺産群』として2000年に世界遺産に登録されたそうです。

モモが到着したのは「文化の日」とされる11月3日で、首里城では、1年でいちばん大きなお祭りが、ちょうど開催されているところでした。

賑やかなパレードの中、豪華な民族衣装をまとった、ひととき華やかな女性が、輿（こし）に運ばれながら、モモのほうへ近づいてきました。

その美しい女性は、かつてこの地で栄えていた琉球（りゅうきゅう）王国の王妃さまの役を演じているのだそうです。

モモがボーっと見とれていると、王妃さまは「こんにちは、かわいいワンちゃん。良い1日を！」と、微笑んでくれました。

モモは幸せな気分になり、微笑みながら、しっぽをうずうずと振りしました。



MOMO is
HERE →



首里城跡（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

【Address】〒903-0815

沖縄県那覇市首里金城町1-2 首里城公園管理センター

【TEL】098-886-2020 / 9:00~17:00

4月~6月、10月~11月：8:30~19:00

7月~9月：8:30~20:00、11月~3月：8:30~18:00

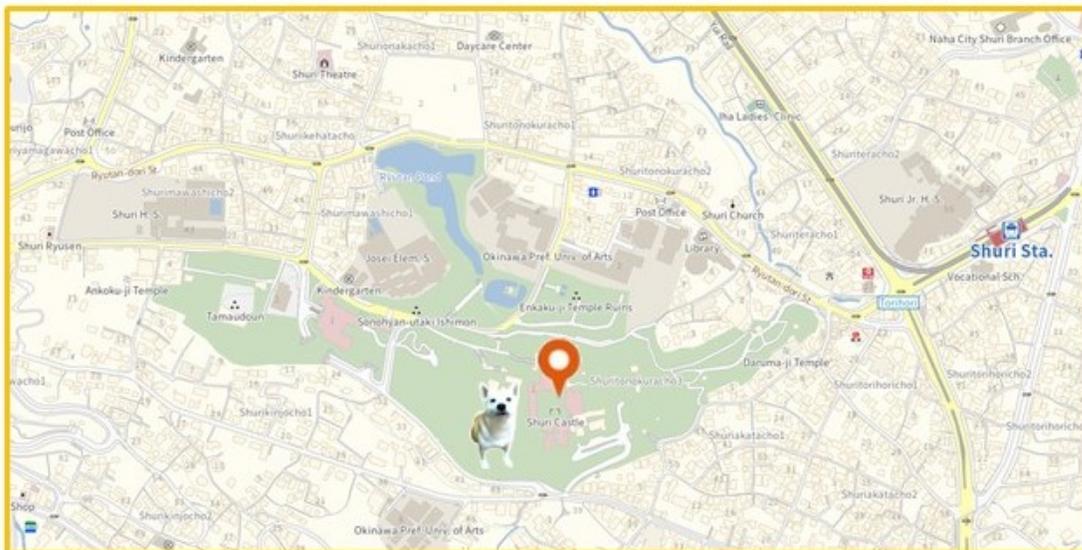
【FAX】098-886-2022

【Access】「那覇空港」駅から「ゆいレール」に乗車し、

「首里」駅にて下車、徒歩約15分

【拝観料】一般：820円 / 高校生：660円 / 小・中学生：310円

（最終入館時間：閉門30分前）





モモは、首里城跡の次に、近くの園比屋武御嶽（そのひゃんうたき）に向かいました。急傾斜の坂道を上がると、石の門が見えてきて、この門の後ろにある森が、園比屋武御嶽のようです。

どこかから、子供たちの賑やかな声が聞こえてきます。

小学校や幼稚園が、近所にあるのかもしれない。

通りかかった女性がモモに気づいて、教えてくれました。

琉球王国の王さまたちは、旅行の前に、旅立ちの挨拶をしに、必ずこの神聖な場所を訪れていたそうです。

モモは感動して、琉球を守る神さまと、かつての王さまへの敬意を表すために、頭を下げました。





園比屋武御嶽石門

(琉球王国のグスク及び関連遺産群)

【Address】〒903-0816

沖縄県那覇市首里真和志1-7付近 首里城公園内

【TEL】首里城公園管理センター：098-886-2020 / 9:00~17:00

【Access】「那覇空港」駅から「ゆいレール」に乗車し、
「首里」駅にて下車、徒歩約15分

【拝観料】無料





今日は、琉球王国の王家の霊廟（れいびょう）、玉陵（たまうどうん）にやってきました。
このお墓には、歴代の王さまたちが眠っているそうです。

「やあ、モモちゃん。元気にしてる？」

だれかに話しかけられて、モモが見回すと、年老いたコウモリさんが、石壁から宙吊りになっていました。

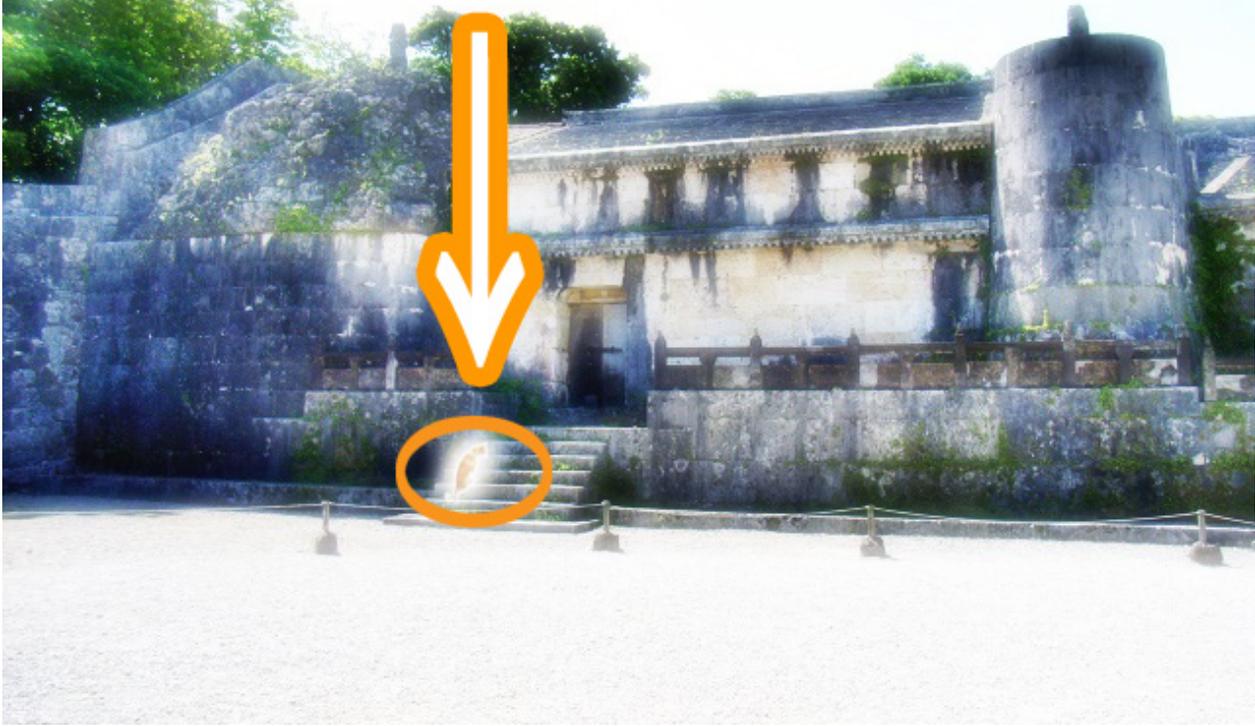
「ここはね、昔の戦争で壊れちゃったんだ」

神聖な場所をいとも簡単に壊してしまう戦争は、恐ろしくて、哀しいことです。

「でもね、琉球の人たちが協力し合って、修復したんだよ」

モモは、戦争に立ち向かう人々の善意に、胸が熱くなりました。

MOMO is HERE



玉陵（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

【Address】 〒903-0815

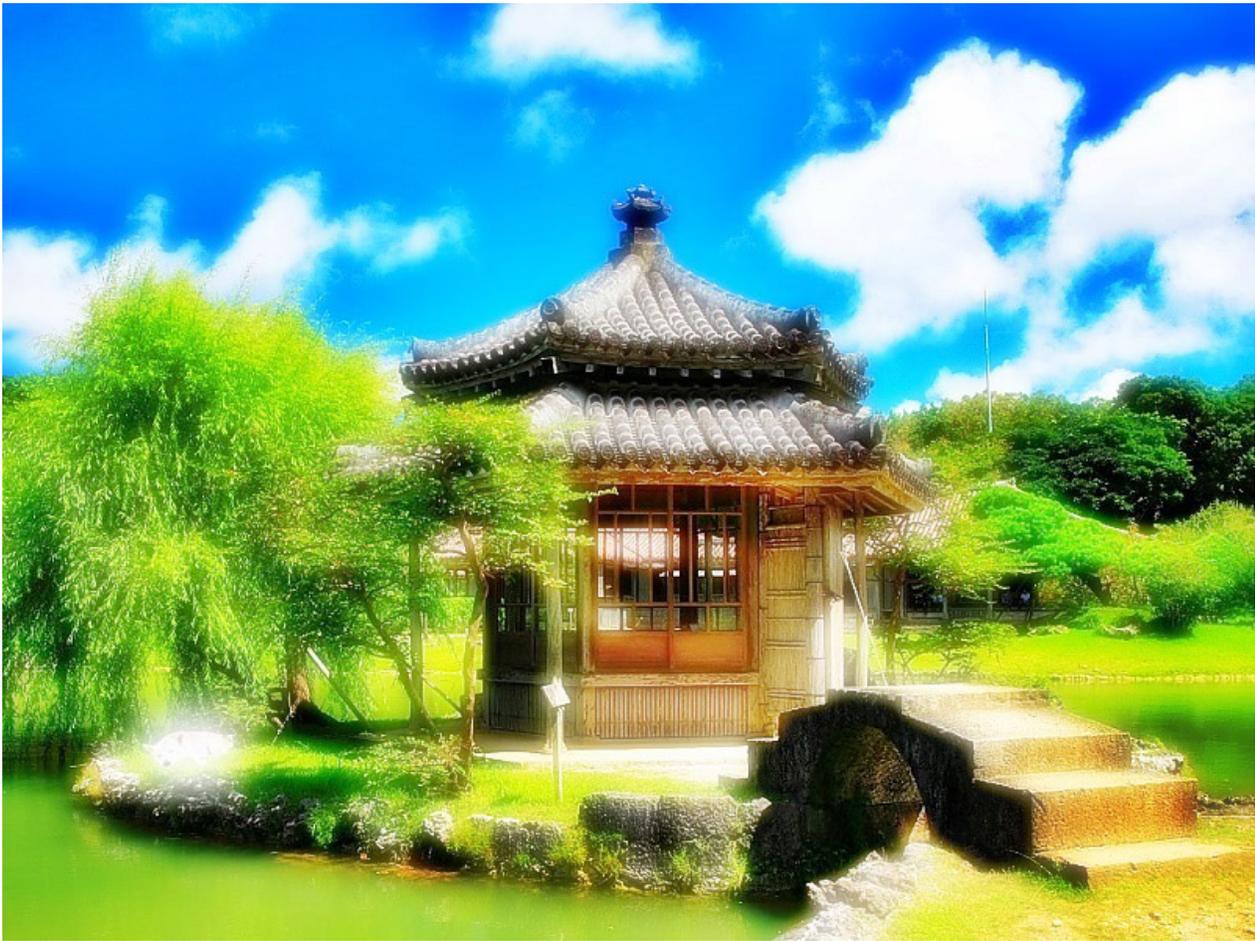
沖縄県那覇市首里金城町1-3 玉陵管理事務所

【TEL】 098-885-2861 / 9:00～18:00

【Access】 「那覇空港」駅から「ゆいレール」に乗りし、
「儀保」駅にて下車、徒歩約15分

【拝観料】 一般：300円 / 子ども：150円（最終入館時間17:30）





今日は、首里城の南にある、美しいお庭にやってきました。

識名園（しきなえん）と呼ばれるここは、18世紀に造園されたそうです。

絵のような風景に魅了されながら、モモは、庭園内を散策しました。

とても好いお天気で、陽射しを受けて泉がキラキラと輝いています。

モモは、陽の当たる芝生に寝転がりました。

爽やかなそよ風に吹かれて、樹々がやさしく囁いています。

モモにとって、こういう素敵な場所でのお昼寝は、最高に幸せなことなのです。

MOMO is HERE



識名園 (琉球王国のグスク及び関連遺産群)

【Address】 〒902-0072

沖縄県那覇市真地421-7 識名園管理事務所

【TEL】 識名園管理事務所：098-855-5936 (休業：水曜日)

4月～9月：9:30～18:00 / 10月～3月：9:00～17:30

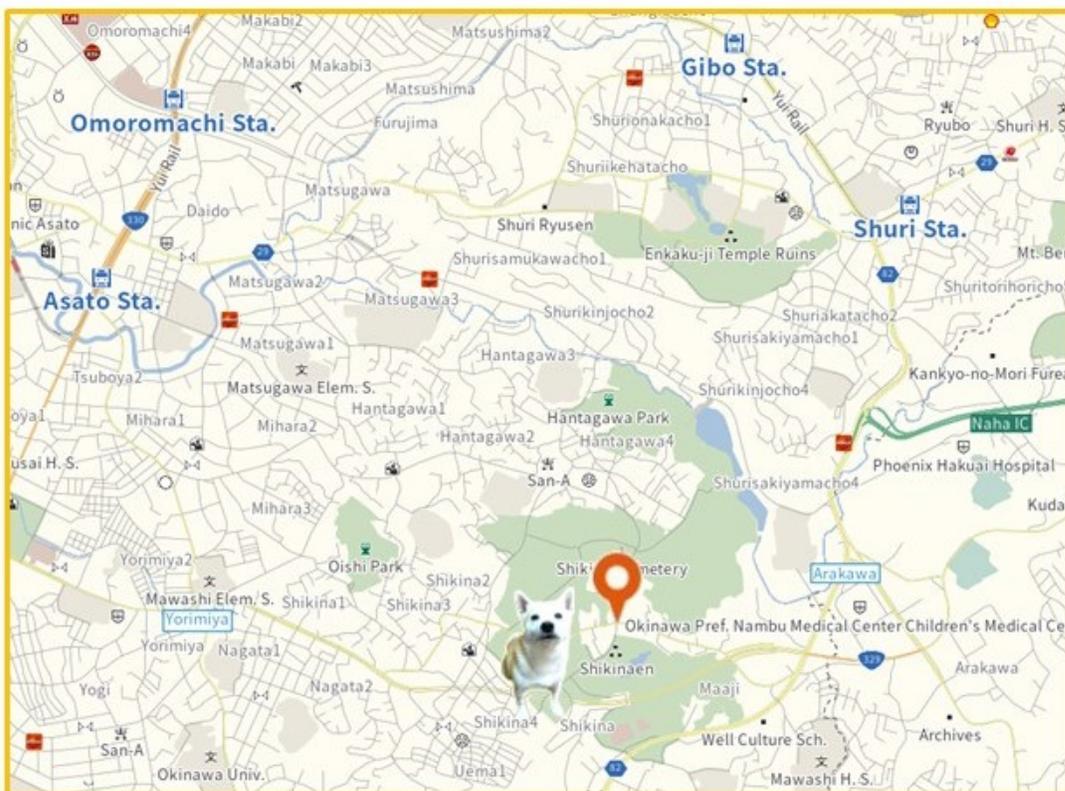
那覇市市民文化部文化財課：098-917-3501

【FAX】 那覇市市民文化部文化財課：098-917-3523

【Access】 市内線「那覇バス」に乗り、「識名園前バス停」下車すぐ
または、ゆいレール線「首里」駅より、タクシー乗車約15分

【拝観料】 一般：400円 / 子ども：200円

(最終入館時間：閉門30分前)





今日は、南城市の斎場御嶽（せーふぁーうたき）にやってきました。

「斎場」は「最上の」、「御嶽」は「聖なる場所」という意味で、もともとは女性だけしか入ることのできない、特別な場所です。

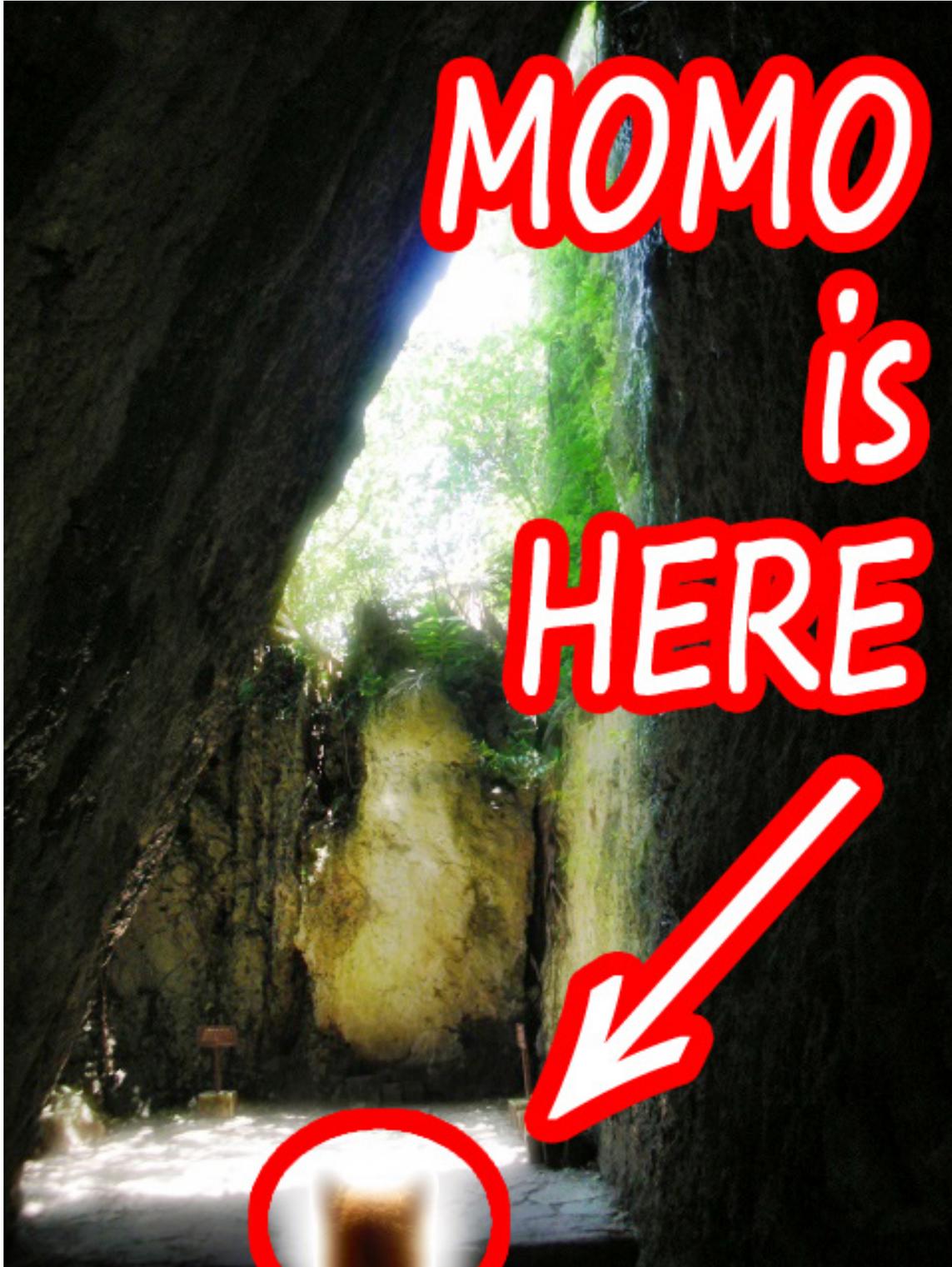
なので、琉球王国の王さまたちは、女装しなければなりませんでした。

「わたしは女の子だから、入っていいんだよね？」

中に入ると、ひんやりとした空気が流れて、厳かな雰囲気を感じられました。

「こんにちは、モモです。ここに来ることができて、嬉しいです」

モモは背筋をピンと伸ばして、ゆっくりと頭を下げました。



斎場御嶽（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

【Address】〒901-1511

沖縄県南城市知念字久手堅270-1

【TEL】098-949-1899（休館日は毎年変動）

3月～10月：9:00～18:00 / 11月～2月：9:00～17:30

【Access】「那覇空港」駅から車で約1時間30分

【拝観料】一般：300円 / 子ども：150円

（最終入館時間：閉門30分前）

【備考】転倒防止のため、サンダル、ヒールでの入域禁止。





今日は、今帰仁城（なきじん・グスク）跡にやってきました。

広がる平地に、石壁が横に長く続いています。

お城というよりは、門のような感じです。

ところで、モモが今帰仁城跡を散歩していると、ターニャさんから電話がありました。

「モモちゃん、沖縄旅行はどうですか？ 年末までには戻ってくる？」

「うーん。まだ決めていないんだけど……」

言われてみれば、彼女は、ずいぶんと長い間、旅を続けています。

突然、彼女は家族が恋しくなって、ターニャさんに会いたい気持ちが溢れてきました。

—これが、ホームシックなのかな？

MOMO is HERE



世界遺産
白子城跡

今帰仁城跡（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

【Address】 〒905-0428

沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊5101 今帰仁城跡管理事務所

【TEL & FAX】 098-056-4400

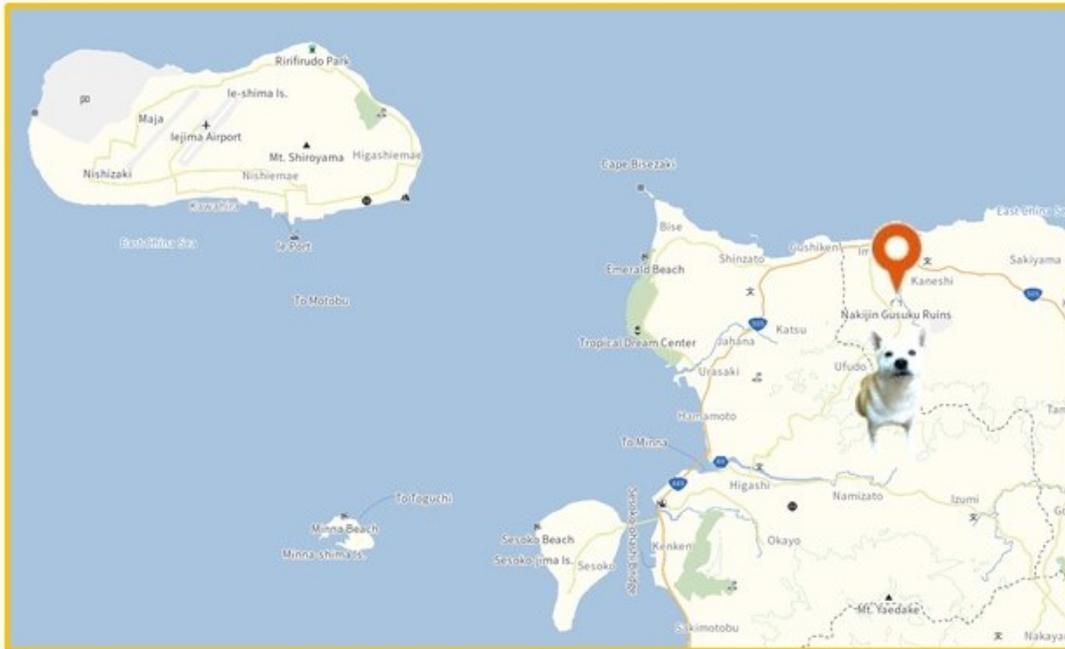
1月～4月、9月～12月：8:00～18:00

5月～8月：8:00～19:00

【Access】 那覇空港から車で約3時間

【拝観料】 一般：400円 / 小・中・高校生：300円

（最終入館時間：閉門30分前）





今日は、勝連城跡（かつれんぐスクあと）にやってきました。

勝連城跡は、グスク（琉球王国の城）としては、もっとも古いものだそうです。

石積みの狭い階段を昇ると、中城湾（なかぐスクわん）と金武湾（きんわん）に、ぐるりと囲まれた絶景が、広がっていました。

どちらの湾も、明るいエメラルドグリーン色がきらめいていて、潮風の薫りが、やさしくモモを包み込んでくれます。

まるで、風の精霊が「モモ、よくここまで来てくれたね」と、ささやいているよう。

家族には会いたいけれど、沖縄の居心地の良さも素晴らしいものです。



勝連城跡（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

【Address】 〒904-2311

沖縄県うるま市勝連南風原3908 勝連城跡休憩所

【TEL】 098-978-7373 / 9:00~18:00

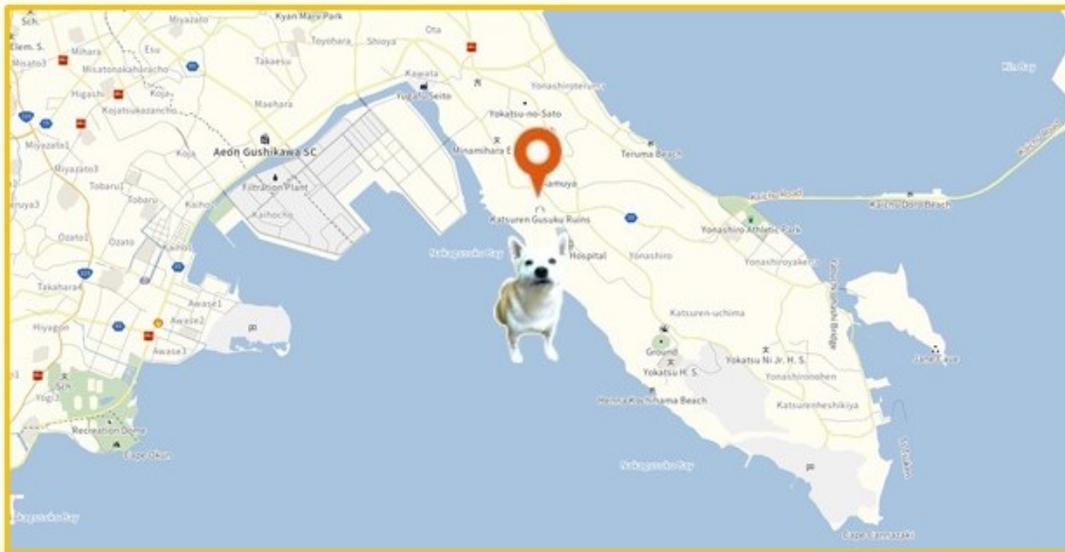
【FAX】 098-923-2179

【Access】 那覇バスターミナル発のバス、

屋慶名線27番、あるいは180番に乗車（約90分）し、
「西原バス停」下車、徒歩約10分

または、与勝線52番に乗車（約90分）し、
「勝連団地前」下車、徒歩約5分

【拝観料】 無料





今日は、座喜味（ざきみ）城跡にやってきました。

この石造りのアーチ型の門は、沖縄でいちばん古いものだそうです。

トンネルのような造りで、くぐり抜けるのが楽しく、モモは何度も繰り返しました。

「空も海も、信じられないくらい綺麗！」

少し高いところから見下ろす絶景も、感動的です。

—沖縄は本当に、楽園（パラダイス）！



MOMO is HERE

座喜味城跡（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

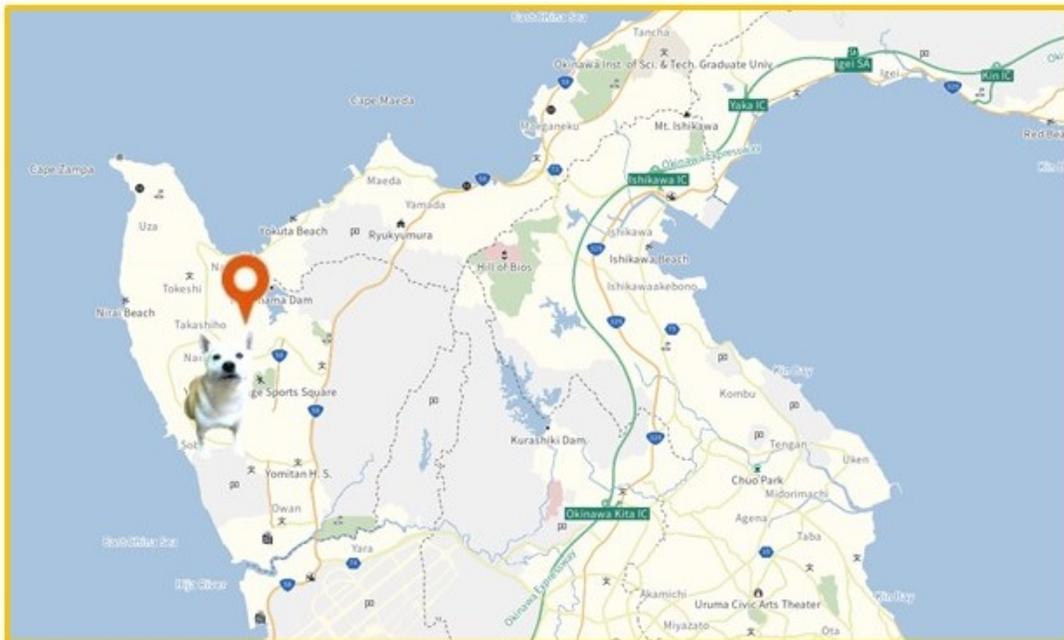
【Address】〒904-0301

沖縄県中頭郡読谷村字座喜味708-6番地
世界遺産 座喜味城跡 ユンタンザミュージアム

【TEL】098-958-3141 / 9:00～18:00

【Access】那覇バスターミナル発のバス、29番読谷線に乗車（約70分）、
「座喜味バス停」下車、徒歩約15分

【拝観料】無料（ユンタンザミュージアムは別料金）





今日は、中城城跡（なかグスクじょうあと）にやってきました。

ここは、「琉球王国のグスクおよび関連遺産群」の9番め（最後）の場所です。

モモは、石壁の上に続く狭い道を見つけました。

「わあ、ここは歩けるみたい！」

ハシゴで石道に上がると、モモはぴよんぴよんと跳ねました。

嬉しくなって、少し駆けてみました。

でも、この壁は、思ったよりも高くて、モモは急に怖くなってきました。

「あの壁の頂上まで行けるかな？」



中城城跡（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

【Address】〒901-2314

沖縄県中頭郡中城村泊1258番地

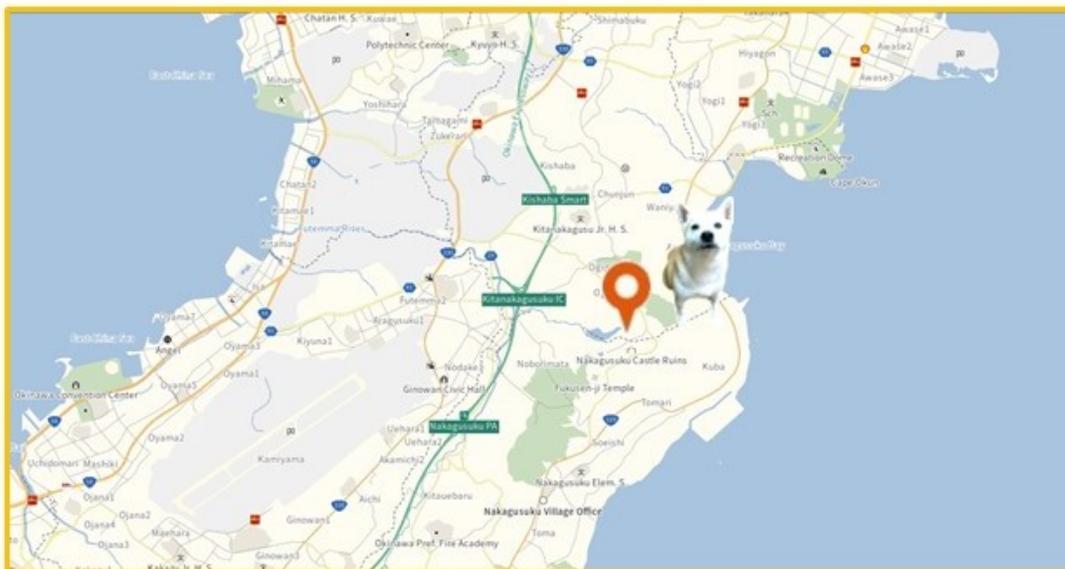
【TEL】中城城跡共同管理協議会：098-935-5719

10月～4月：8:30～17:00 / 5月～9月：8:30～18:00

【FAX】098-935-1146

【Access】那覇空港から車で約50分

【拝観料】一般：400円 / 中学・高校生：300円 / 小学生：200円



4. 愛するモモちゃんへ、安らかに



2019年3月4日、私たちの愛するモモが、天国へと旅立ちました。

20年前、最初に発見された時、モモは鎖で施錠されたドアの下水管に閉じ込められていました。近所の人がモモの叫び声を聞いて、おまわりさんが鎖を工具で断ち切って、ドアを壊して、下水管から助け出してくれました。

そのあと、モモは、警察署が保管する「落とし物」となりました。

持ち主が見つからなければ、4日後に保護センターという場所に移されて、モモは天国に送られるはずでした。

……ところが、その警察署に失くしたお財布を受け取りに来たターニャとの偶然の出会いがあり、モモは引き取られ、それから20年、生きることができました。

日本の世界遺産を巡るモモの冒険は、まだ道のりの途上。

モモのシリーズに、もうしばらくおつきあいいただければ幸いです。

これまでモモを愛してくださった、すべての皆さまに、心から感謝申し上げます。

The BBB: Breakthrough Bandwagon Books

(モモの次なる冒険に続く)

本書は The BBB: Breakthrough Bandwagon Books のためにつくられたオリジナル作品です。

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記～日本編～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-in-japan.html>



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 001-025～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe01.html>

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 026-050～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe02.html>



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 051-075～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe03.html>

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 076-101～

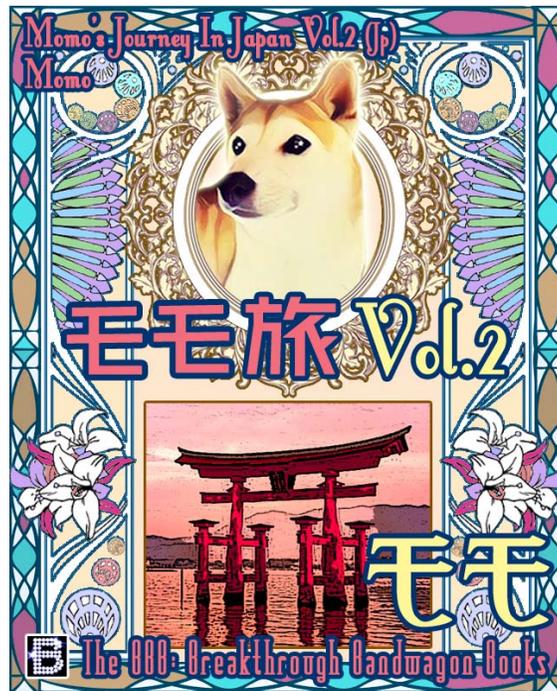
<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe04.html>



モモ旅 Vol. 1

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momos-journey-in-japan-vol1.html>

The BBB でのモモ著作リスト



モモ旅 Vol.2

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momos-journey-in-japan-vol2.html>